

変形性膝関節症

膝が曲げにくいなどの違和感や、膝が痛むことはありませんか。もしかすると変形性膝関節症かもしれません。

症状の現れ方

はじめは、膝がこわばったり、立ち上がりや歩き始めに膝が痛みます。炎症が強くなってくると、関節内に関節液がたまり、関節がはれて、曲げると強い痛みを伴います。

変形が進行するにつれて膝の動きは制限され、正座や膝を完全に伸ばすことができなくなって歩行に障害がでるようになり、徐々に日常生活が制限されてきます。

O脚やX脚の悪化、膝の半月板損傷、関節内遊離体（関節ねずみ）、膝の後ろにベーカー嚢腫（袋状の腫瘤）を合併することがあります。

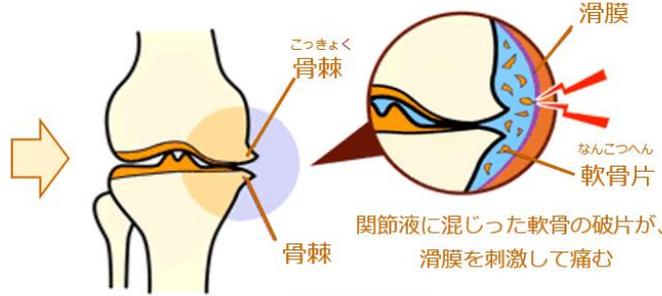
初期

軟骨がすり減り、関節のすきまが狭くなる



中期

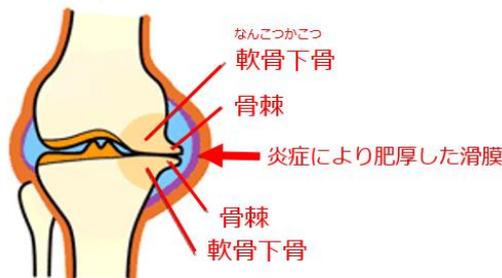
さらに軟骨がすり減り、関節の縁から骨棘がでる



さらに、軟骨がすり減ると

進行期

軟骨がなくなり骨が直接ぶつかるため、激しい痛みを引き起こす



症状に気がいたら

長引く膝の痛みやはれ、O脚やX脚変形、正座ができないなどの症状があれば変形性関節症の可能性もあるため、整形外科の受診をおすすめします。

整形外科・リハビリテーション科医師が担当します
リハビリチームがサポートします
詳しくは1階医事課受付にお尋ねください

膝^{ひざ}に違和感、膝^{ひざ}が痛むこと、
ありませんか？

整形外科
リハビリテーション科